貧困に立ち向かうネットワーク

市場原理とグローバル化の中で「年越し派遣村」に象徴される格差・貧困と社会的排除が起きている。市場の暴走と失敗は社会的立場の弱い市民の労働と生活を脅かし、国民最低限の維持と保障が社会的な課題になっている。社会的排除や貧困がどのような実態にあるのか。反貧困に向けてどのような実践が展開されているのか。我々は社会的排除から共生・包摂に向けてどのように考え、何をすべきか。今日の社会的なテーマを、反貧困の運動を展開している方々からの問題提起を受け、今後のあり方を考えることを目的として、第７回共生塾を企画した。

場所　龍谷大学瀬田キャンパス　ＲＥＣホール１Ｆ　小ホール

定員　各回50名

参加費　無料

第１講　2010年 6月 20日(日) 13:00～16:00

「女性の貧困」

「しんぐるまざあず・ふぉーらむ・関西」の指導的メンバーを中心に、女性の貧困、運動の重点や特徴、今後の課題を取り上げる。

報告者　田中　聡子氏（県立広島大学保健福祉学部講師）
　　中野　冬美氏（女性のための街かど相談室　ここ・からサロン　共同代表）
　　山本　八重子氏（特定非営利活動法人いくの学園　運営委員・相談員）
コーディネーター　大友　信勝（龍谷大学社会学部教授）

第２講　2010年 6月 26日(土) 13:00～16:00

「居住と貧困」

釜ヶ崎のサポーティブハウス、あいりん相談室、自立センター、宿泊所問題にかかわっている関係者等から「住まいと貧困」を問題提起していただき、今後の課題を追求する。

報告者　今村　雅夫氏（全国公的扶助研究会　事務局次長）
　　舟木　浩氏（弁護士）
　　益子　千枝氏（よりそいネット・おおさか相談員）
コーディネーター　大友　信勝（龍谷大学社会学部教授）

第３講　2010年 7月 4日(日) 13:00～16:00

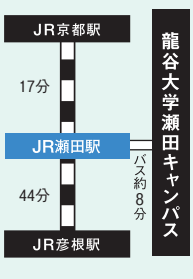
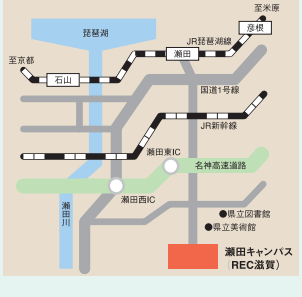
「こどもの貧困」

反貧困滋賀ネットワークは滋賀県内の教職員と弁護士・司法書士等の組織である。教職員が中心になり、学用品やランドセル等を支援する活動を行っている。こどもの貧困がどうなっているか。どのような活動をしているか。今後の進め方はどうか、等を取り上げる。

報告者　角田　純一郎氏（全教滋賀教職員組合）
　　永芳　明氏（弁護士）
　　吉田　雄大氏（弁護士）
コーディネーター　田中　聡子氏（県立広島大学保健福祉学部講師）

●手話・要約筆記をご希望される方は事前にお申込みください。

お問い合わせ
龍谷大学福祉フォーラム事務局（ＲＥＣ滋賀）
〒520-2194　滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5
TEL／077-543-7744　FAX／077-543-7771
E-mail／r-fukushi@ad.ryukoku.ac.jp
ホームページ／http://rec.seta.ryukoku.ac.jp/fukushi/
（受付時間：月曜日～金曜日　9:00～16:30）
※土曜・日曜・祝日及び大学が定める休日は、受付業務を行なっておりません。
龍谷大学は、学内全面禁煙です。

電車　バス
JR琵琶湖線「瀬田」駅下車
帝産バス「龍谷大学」行き（約8分）

お車
名神高速「瀬田西IC」（大阪方面から）
「瀬田東IC」（名古屋方面から）より
文化ゾーン方向へ車で約5分　【駐車場有】